

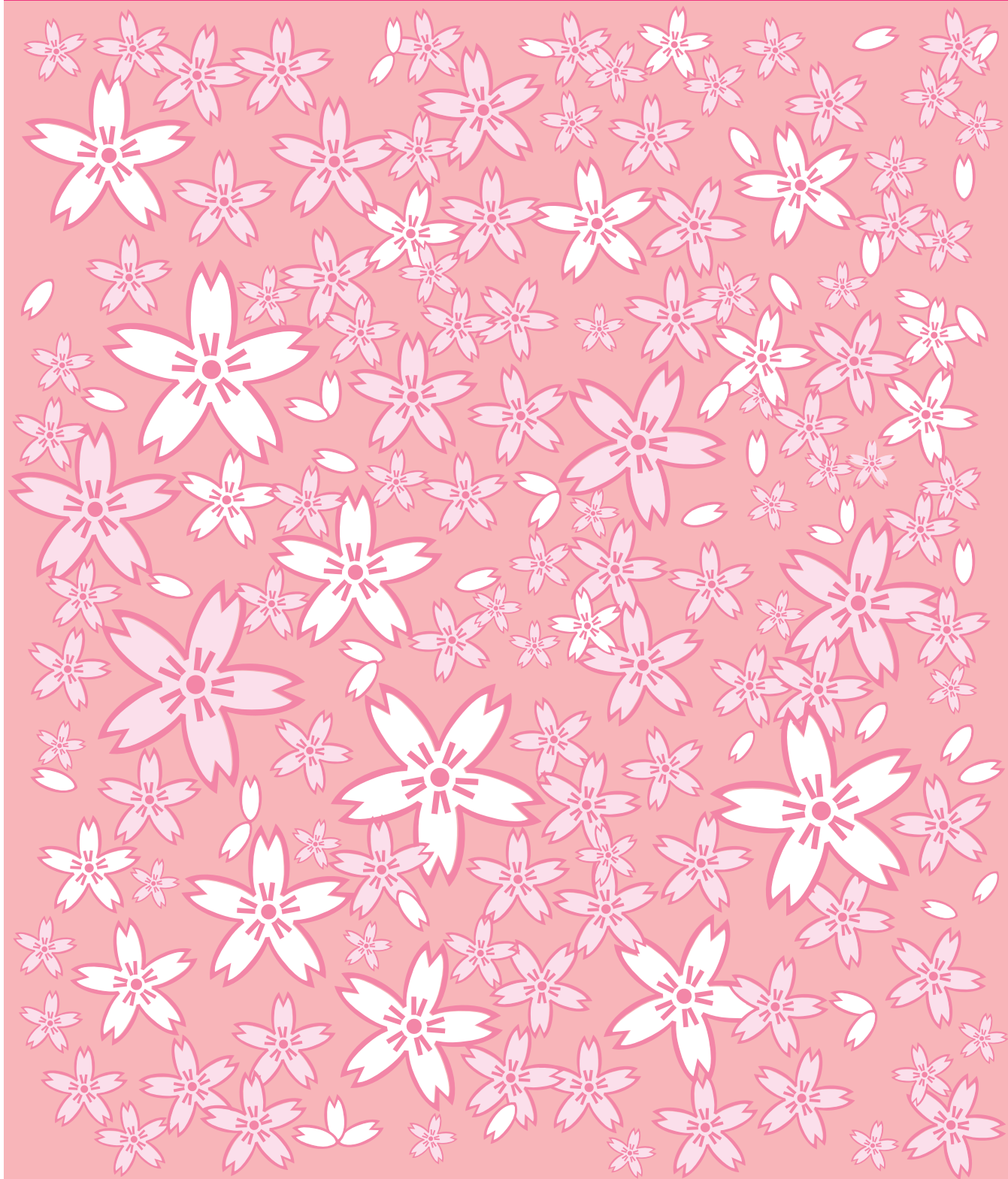
会報

春

No.145

2009.4

社団法人 北海道電業協会



会 報

2009.4
No.145

目 次

産業保安と企業の安全文化	
.....北海道産業保安監督部長 中 塚 正 紀...	1
平成21年電気関係賀詞交歓会.....	2～3
技術講習会「省エネルギー・新エネルギー」.....	4
電気設備工事現場見学会.....	5
電設業関連四団体懇談会.....	6
電気・空衛連絡協議会.....	7
札幌市都市局と電気空衛協議会との意見交換会.....	8
道設備設計事務所協会と電気・空衛連絡協との意見交換会.....	9
ーシリーズー 1／212だより	
・小さくてもキラリ夢輝くまち「びほろ」	
.....美幌町長 土 谷 耕 治...	10～11
・人と自然がきらめく町 喜茂別町	
.....喜茂別町長 菅 原 章 嗣...	12～13
現場からこんにちは.....	14
分離発注訪問記.....	15
新公益法人制度についての説明会.....	16
「お知らせ」	
平成21年度電気工事施工管理技士受験準備講習会	
1級学科・1級実地.....	17
平成21年度登録電気工事基幹技能者特例講習会.....	18
平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習会.....	19
業界だより、理事会.....	20
三役会・委員会報告.....	21～22
事務局日誌.....	23
編集後記.....	24



産業保安と企業の安全文化

北海道産業保安監督部長 中 塚 正 紀

経済産業省では、平成13年に原子力安全と産業保安を一元化した原子力安全保安院を設立し、平成17年には従来の鉱山保安監督部を改組し、産業保安事務を一元化する産業保安監督部を設置しました。こうした組織の見直しと併せて産業保安行政については従来の事前規制から事業者が自らの責任で保安確保に努力する自主保安体制を原則とする事後規制に制度を見直しました。つまり企業の自主的な保安確保の取り組みが極めて重要な部分を占める新たな規制体系に改正されました。

一方、電力分野では、平成18年に電力会社において不適切な対応等が発覚して以来、さまざまな事案が明らかになり、保安管理業務においても、点検不履行等不適切な事案が発生しました。これら関係者にはより一層のコンプライアンスの徹底が求められています。

また、最近の世の中の動きを見ると、様々な食の安全問題がテレビや新聞紙上で大きく報道されるなど、国民の安全安心に対する認識はこれまでになく高まっています。このように企業を取り巻く環境は、近年、大きく変化しており、求められる安全の精度はより一層高くなっています。

予報時報の「企業の安全文化」と題する座談会によると、企業の現場は、バブル崩壊後の“失われた10年”の間に設備投資を抑制したため、産業施設の老朽化はメンテナンスをより難しくし、リストラを進めた結果、経験豊富なベテランが現場にいなくなりました。そしてIT化の進展により現場を知らなくてもパネルを見てオペレーションでできるようになり、保守点検はアウトソーシングに

より協力会社が担当する時代になりました。こうした企業内の変化は、技術の伝承など様々な問題を発生させているということです。

こうした企業内外の環境変化に直面し、どのような対応が求められているのでしょうか。原子力安全保安院の「産業保安分野における安全文化の向上に関する研究会中間取りまとめ」(H18.11)によると、産業事故や産業保安規制に係る検査不備等のコンプライアンス問題の背景には、多くの場合、事業者の安全文化に関わる問題が存在すると指摘しています。それぞれの会社にはそれぞれの文化があります。例えば「安全が大事」という価値観をトップの経営者から従業員・関連会社まで共有し、その取り組みや理念が時代の要請から大きくずれが生じれば、自ら変えていくという文化を育む必要があります。

このため、産業保安監督部では、安全文化の醸成・向上のため、各種会議等の場を活用し必要な情報発信に努めるとともに、事故情報や再発防止対策など可能な限り水平展開するなど、事業者が自律的に安全確保に取り組む環境を整え、こうした企業の取り組みを支援しています。我々行政や学識経験者など第三者による客観的な評価など外部の力も活用し、安全文化を醸成するための企業行動に繋げていただければと思います。

最後になりますが、各事業者におかれましては、今一度、それぞれの企業文化について考え、企業内外の環境変化に対応するため、積極的に安全文化の醸成・向上に取り組んで頂きますようお願いいたします。

平成21年電気関係賀詞交歓会



近藤会長挨拶

日 時 平成21年1月9日(金)11時から
場 所 札幌グランドホテル2階
「グランドホール」

(社)日本電気協会北海道電気協会
北海道電気工事業工業組合
(社)北海道電業協会

恒例の上記3団体による「平成21年電気関係賀詞交換会」が、1月9日札幌グランドホテルにおいて、多数のご来賓と3団体の会員合わせて約360名が出席して開催された。

初めに主催3団体を代表して(社)日本電気協会北海道電気協会の近藤龍夫会長が挨拶した。

近藤会長は、昨年はサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱による世界同時の経済危機に見舞われ、さらに化石燃料の乱高下はわが国の電気事業経営にも大きな影響をもたらし、その対応に追われた1年であった。次に道内景気について触れられ、長年にわたる停滞感を払しょくできないまま、世界経済の急激な減速の影響を受

けて、一段と厳しい状況に置かれている。としながらも明るい話題として、昨年の北海道洞爺湖サミット開催により、北海道の国際的知名度が向上した機会を捉え、北海道の豊富な食や観光資源を活かした観光振興を今後の強みとして発展させるべきと述べたほか、北海道新幹線の札幌延伸についても触れ「厳しい中にも明るい未来につながる兆しがある。来るべき北海道時代に備え、3団体一致協力して着実に歩んでいきたい」と挨拶された。

続いて、来賓の山本雅史北海道経済産業局長から、祝辞を頂戴し、まず、日頃から電力という国民生活や産業に不可欠なエネルギー供給に尽力さ



れていることに対するお礼を述べられてから、最近の経済情勢について触れ、非常に厳しい状況が続いているけれど、今年の干支丑年にたとえ、どっしりと構え中長期的な視野から来るべき春に備えて、必要な事を着実にやっていかなければならないとし「北海道は経済の活力となる観光、農産物、人材、広大で肥沃な土地など優れた地域資源を有しており、これらをうまく活用することで新しいビジネスチャンスが生まれてくる。活力ある北海道経済を引き出すため、皆さまで一緒に力を合わせて取り組んでいきたい」と決意を述べられた。最後に、電気関係3団体の一層のご理解とご協力をお願いされて締めくくった。

この後、北海道電気工事業工業組合の尾池理事長の乾杯で交歓会が始まり、会場では景気回復や企業業績アップを願い、あちこちで名刺交換や歓



乾杯 尾池理事長

談する姿がみられ、和やかな雰囲気での時間の経つのも忘れるほどの賑わいであった。

12時すぎに当協会の吉川会長の1本締めでお開きとなった。



山本局長からのご祝辞



吉川会長の一本締めでお開き

技術講習会「省エネルギー・新エネルギー」



平成21年2月13日(金)午後1時30分から、北海道電気会館502会議室において「省エネルギー・新エネルギー」に関する講習会を開催した。受講者は会員企業の工事の実務担当者で14社20名の方々が参加した。

開催にあたり主催者を代表して、当協会の野尻副会長から「近年、温室効果ガス排出抑制の観点から、化石燃料に代わる再生可能な新エネルギーの利用拡大が進められている一方、エネルギー需要は用途の拡大と多様化が進み、分散型エネルギーの普及拡大とエネルギー効率の向上が強く求められている。我々電気設備専門業者として、「省エネルギー・新エネルギー」について、技術提供できるように、本日の講習会を有意義なものにしていただきたい」と挨拶された。

講師には、北海電気工事(株)電設技術部次長成田

廣芳氏が日本電設工業協会本部から派遣された。

省エネルギーについては、(社)日本電設工業協会が作成した「最新の省エネルギー技術とLCCO₂^{*}に関する調査報告書」を用いて説明され「省エネルギー技術を保有し、お客さまのニーズにあった省エネルギー提案をタイムリーに提供することは、業界発展の手段としても地球環境への貢献という社会的要請に対しても有意義である」とし、次に、テキスト「図解新エネルギーのすべて」から、石油依存のエネルギー構造から脱却するキーテクノロジーとして期待される新エネルギーについて、具体的な仕組みと設備、用途、課題などについてわかり易く解説された。

※LCCO₂：建築に起因するCO₂排出量を算出するために、建物寿命1年あたりのCO₂排出量を評価する手法のことで、ライフサイクルCO₂の略。



開講挨拶 野尻副会長



講師 成田 廣芳氏

電気設備工事現場見学会



平成21年1月30日(金)会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため、会員会社15社24名で札幌市里塚斎場と独立行政法人産業技術総合研究所（略して産総研）北海道センターの見学会を実施した。

里塚斎場は昭和59年以来、大規模な補修・整備が行えなかったことから、各設備の老朽化が進み限界を迎えていたので大規模な改修を行うこととなった。電気設備については全面改修、さらに火葬炉についても劣化が著しいことから全面更新された。

最初に(株)北弘電社の現場代理人中町光秀さんから、工事概要についての説明があり、続いて各施設を見学、火葬棟では火葬炉の試運転調整中で、ふだんは見ることでできない火葬炉の裏側にある点検窓から中の様子を見ることができた。

最後に電気室を見学して里塚斎場の見学を終了した。

午後からは次の見学施設で、最初に産総研の北野邦尋所長から北海道センターの研究内容につい

て説明があった。特に、バイオ技術研究においては産総研の研究拠点の一つであり、具体例として微生物を使った医薬原料生産システムを構築し骨粗しょう症の治療薬であるビタミンDの生産性を飛躍的に高める事ができ



産業技術総合研究所 北海道センター 北野邦尋所長

たことは大きな成果である。また、完全密閉型遺伝子組換え植物工場実験施設では、我が国で初めて、遺伝子組換え植物栽培として、治療用インターフェロン産生イチゴの栽培を実用化に向けて開始していた。

植物工場や遺伝子組換え施設はクリーンルームになっているので中には入れなかったが、北野所長から各施設の内容について丁寧にわかり易く説明いただき最新のバイオテクノロジー技術に見学者一同感心させられ、本日の見学会を終了した。



電設業関連四団体懇談会



平成21年2月27日(金)午後4時から北電北二条クラブにおいて、当協会、北海道電気資材卸業協同組合、電設資材総合メーカー（3社）、(社)日本配電制御システム工業会北海道支部の4団体による懇談会を開催し、各団体から17名が出席した。

はじめに、当協会の吉川会長から日頃の皆さんのご協力に対して感謝の意を述べられたあと「厳しい経営環境が継続している中で、電設業関連四団体が一致団結協力して、この難局を乗り越えていくためにも有意義な懇談会にして欲しい」と挨拶があった。

続いて、嘉部支部長から「当業界が推進してきた『品質マネジメントシステム』も10年が経過して浸透してきた、今後は『環境マネジメントシステム』を取り込み、顧客満足度の向上、業界の地

位向上を目指す」と挨拶された。

次に、滝川理事長から「北海道の建設業は厳しい状況が継続しているが、昨年の北海道洞爺湖サミットの影響で地球環境にやさしい省エネ商品やオール電化住宅の普及拡大さらにセキュリティのニーズ拡大など明るい材料もあるので、皆さんで力を出し合ってこの難局を乗り越えよう」と挨拶された。引き続き各団体、メーカー各社から業界の現状と今後の見直し・対策などの報告があった。最後に当協会の広島専務理事から平成18年度実施された会員調査の実施結果から、電気設備工事業に係る受注状況・完成工事高などについて、また昨年10月に日本電設工業会が策定した「会員大会決議」について、適正な事業活動の推進と取り組み状況を説明した。



吉川会長 挨拶



嘉部支部長
(社)日本配電制御システム工業会



滝川理事長
北海道電気資材卸業協同組合

電気・空衛連絡協議会



平成21年3月13日(金)北海道設備会館において当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会による平成21年度の協議会を開催した。

道空衛からは、池田会長ほか12名、当協会からは吉川会長ほか9名が出席した。

本協議会は、電気・空衛の両協会が連携・協調して事業を推進するため毎年開催しており、両業界の共通課題に取り組み、情報交換及び検討会を重ね、両協会の地位向上、企業経営に大きな役割を果たしている。

今年は、下記の協議事項について意見交換を行った。

【協議事項】

1. 電気・空衛連絡協議会行事予定について
2. 北海道設備設計事務所協会との協議会開催について
3. 札幌市と電気・空衛連絡協議会との意見交換会について

【出席者】

◎(社)北海道空調衛生工事業協会

((中) 札幌空調衛生工事業協会)

会 長	池 田 薫
副 会 長	迹 田 保 典
副 会 長	里 中 雅 幸
常任理事 総務担当	佐 藤 光 好
〃 経営担当	渡 部 正 博
〃 技術担当	五十嵐 正 明



理 事	総務担当
〃	経営担当
〃	〃
〃	技術担当
〃	〃

監 事
事務局長

太 田 正 則
石 尾 修
新 村 誠
村 田 克 敏
大 谷 美貴夫
佐 藤 正 治
小 林 雅 英
(13名)



池田会長



吉川会長

◎(社)北海道電業協会

会 長

副 会 長

〃

〃

理 事 総務委員長

〃 経営委員長

〃 技術安全委員長

経営副委員長

専務理事

事務局長

吉 川 照 一
中 野 章
山 口 勉
野 尻 武 彦
加 藤 勝 利
小野寺 涼 一
工 藤 洋 修
元 永 修
広 島 維 夫
枝 並 秀 喜
(10名)

札幌市都市局との意見交換会



当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会との共催で3月13日(金)北海道設備会館会議室において、札幌市都市局幹部の方々のご出席をいただき、意見交換会を開催した。

電業協会と道空衛協会からそれぞれ会長、副会長、理事ら合わせて23名が参加し、札幌市都市局からは鈴木保雄設備担当部長、芝富士夫電気設備課長、佐藤之則機械設備課長、が出席された。

1. 札幌市からの情報提供

- ①札幌市の事業動向と今後の見通し
- ②入札契約制度等について
- ③その他

2. 質疑応答・要望事項

- ①札幌市との防災協定締結について
- ②最低制限価格の引き上げについて
- ③入札参加条件に地域要件を設定する中小企業対策について
- ④予定価格の事前公表の廃止について
- ⑤分離発注の継続と適正工事量の確保について



札幌市都市局建築部
左から 芝課長、鈴木部長、佐藤課長



「道設備設計事務所協会」と「電気・空衛連絡協」との意見交換会



当協会と道空調衛生工事業協会で構成する「電気・空衛連絡協議会」と「道設備設計事務所協会」との意見交換会が3月23日(月)北海道設備会館会議室で開催され、3協会から合わせて25名が出席した。

はじめに、吉川会長から業界を取り巻く環境が厳しさを増す中で、公共工事の減少、原油価格の高騰などで、さらに厳しさに追い討ちをかけられている状況を説明し、この難局を力を合わせて乗り越えようと挨拶があった。

つづいて、各業界から状況報告があり、電業協会からは、電設工事業界をめぐる最近の状況と当協会の事業取り組みについて、会員調査結果の資料から、会員の受注が官民共に不調で全国に比べ大きな落ち込みになっている現状を報告。さらに、日本電設工業協会が昨年10月に策定した「20年度会員大会決議事項」について説明。道空衛協会からは、(社)日空衛主催第15回全国会議でのパネルディスカッションのテーマから「地球環境問題と地方中小空衛業者の活性化策」について説明。道設備設計事務所協会からは、新しい建築士制度の概要と改正建築士法問題に対応するための建築設計関係団体会議の内容について説明された。

《出席者名は次のとおり》

◎北海道設備設計事務所協会

会 長	種市 由夫		
副 会 長	高木 正一		
理 事	須藤 良也	鳥海 稔明	
〃	池田 信穂	高木 晃	
〃	薮原 賢		
事務局長	増田 宏興		

◎(社)道空調衛生工事業協会

会 長	池田 薫		
副 会 長	渡部 正博		
〃	里中 雅幸		
理 事	五十嵐正明	石尾 修	
監 事	佐藤 正治		
事務局長	小林 雅英		

◎(社)北海道電業協会

会 長	吉川 照一		
副 会 長	中野 章	山口 勉	
〃	野尻 武彦		
理 事	加藤 勝利	小野寺涼一	
〃	萩本 哲夫		
経営副委員長	元永 修		
専務理事	広島 維夫		
事務局長	枝並 秀喜		



小さくてもキラリ夢輝くまち「びほろ」

美幌町長 土 谷 耕 治



△美幌駅前と駅前にある「君の名は」の記念碑（写真下）



△美幌峠から眺める屈斜路湖

美幌町は、網走支庁管内の南東部に位置し、オホーツク圏の中核都市である北見市やジェット型空港を有する大空町など1市4町に隣接。国道4路線、道道6路線、鉄道はJR石北線を有し、道内主要都市や近隣の市や町を結ぶ交通の要衝となっています。

大正元年（1912年）池田・網走間の鉄道の全線開通を機に移住者が増加。その後も美幌海軍航空隊の開隊、警察予備隊（陸上自衛隊の前身）の駐屯、製糖工場（日甜美幌製糖所）の操業開始などで、飛躍的な人口の増加を記録し、今も自衛隊や製糖工場の関係者や家族が多く暮らし、地域経済の活力の源となっています。



基幹産業である農業は、高い日照率に支えられ、約1万haの農地から、砂糖の原料であるビート（甜菜）、馬鈴薯、小麦、豆類を中心とした畑作4品が主要作物となっているほかに玉葱やにんじん、アスパラなど収益性の高い野菜も栽培されています。



△保健福祉総合センター「しゃっきとプラザ」での介護予防の様子

元気で活動的に暮らすことができる健康で長生きを楽しむ町づくりを目指して、平成16年にオープンした保健福祉総合センター「しゃっきとプラザ」保健福祉の総合相談と健康づくり機能を備えた複合施設を多くの町民が集い健康づくりに励んでいます。

観光は、雄大な景観が広がる「美幌峠」をはじめ、「美幌観光と牛まつり」や「ふるさと祭り」「びほろ冬まつり」など季節感豊かな催しが行われています。

●みどりの村森林公園



美幌町の市街地から約2kmという立地条件の良い山林一帯に広がる総面積33haの森林レクリエーション施設。園内には、キャンプ場や農村生活をまるごと体験できる多機能型宿泊施設「グリーンビレッジ美幌」や太古から近代まで美幌の開拓の歴史をタイムスリップさせてくれる「美幌博物館」全長200mの「ジャンボ滑り台」などがあり、都市と農村の交流、そして体験の場として親しまれています。

●地元材の活用と植栽の推進



面積の62%を森林が占める美幌町では、その豊かな森林資源を地域の活性化に役立てようと世界基準であるFSC森林認証を取得し、木材の高付加価値化、ブランド化を図っています。町で産出されたカラマツ認証材で住宅を建築した場合に一定の助成をする制度を設ける一方、企業が社会貢献と環境対策のため植栽活動などを実践する「企業の森」事業を通じて企業と協定を結んで町内の森林への植樹を推進し、自然と共生する取り組みを実践しています。

●美幌観光和牛まつり



毎年7月中旬、町内を流れる網走川の河畔公園の芝生に300以上の炉を並べ、青空の下、6頭分の美幌和牛肉を味わう野外大バーベキュー祭り。この日は、朝から家族や職場単位でどっと人が押し寄せ、炉の周りに集い、ビール片手に和牛肉に舌鼓を打ちます。ほかに、ちびっ子向けのアトラクションや特設のステージでは歌謡ショーなども披露され、町内外から訪れる約2万人以上の人々を楽しませます。

●美幌峠と峠の湯びほろ



標高525m、眼下には太古が生み出したカルデラ湖の屈斜路湖、雄々しい噴煙を上げる硫黄山、秀峰斜里岳が一望できる美幌峠には毎年多くの観光客が訪れます。峠の頂上にある道の駅「ぐるとパノラマ美幌峠」は、訪れる人たちの休憩ポイントとして親しまれ、2階からも峠の景観を眺めることができ、さらに映画やドラマのロケ地となった「君の名は」のゆかりの品々が飾られています。また、峠を美幌市街地へ下ると木造ドーム型屋根が人気となっている温泉施設「峠の湯びほろ（写真左）」が旅の疲れを癒してくれます。

美幌町の概要（2009年1月現在）

■面積	438.36平方Km
■人口	22,246人
■世帯数	9,815世帯
■町の木	オンコ
■町の花	エゾムラサキツツジ

町章

■片仮名の「ビホロ」と未来への広がりを表す円形とを組み合わせています。





人と自然がきらめく町 ～喜茂別町～

喜茂別町長 菅原章嗣



山の多い川というアイヌ語を由来とする喜茂別町は、北海道で最初に全国「水の郷」百選に指定された美しい水のまちです。「えぞ富士」の名で親しまれている羊蹄山や尻別岳などに囲まれ、その山間を清流日本一の尻別川や喜茂別川が流れ、四季を通じて美しい風景が訪れる人を楽しませてくれます。

特に双葉地区から見える羊蹄山と尻別岳は、「双子の羊蹄」と呼ばれています。

豊かな自然に恵まれた喜茂別町は、札幌市の南西に位置し、札幌市や千歳空港へは、車で90分という恵まれた立地条件にあります。

また、豊富な清流により、農業地帯として発展を遂げ、アスパラガスや馬鈴薯の名産地としてもその名を広めてきました。

喜茂別町のアスパラガスは、日本のアスパラガス栽培発祥の地として、昭和4年から本格的な栽培が始まりました。もともとアスパラガスは寒さに強く、喜茂別の気候風土に適していたことから生産量も伸び、またクレードル興農が昭和7年か

らアスパラ缶詰の製造を開始したこともあって、アスパラガスは喜茂別にはなくてはならない作物となりました。最近では、グリーンアスパラと共にホワイトアスパラも人気が上がってきており、初夏の味覚として全国へ発送されます。

他には、寒暖の差を利用した糖度の高いメロンやトマト、小豆、ビートなどがこの肥沃な土地の恵みを受けて耕作されています。

平成12年から町内のお母さんたちが加工グループを結成し作り始めた「きらめきみそ」は、町内で有機栽培された大豆を使用し、美味しく安心して食べられると評判です。

また、水源に恵まれた水の郷にふさわしく、子どもたちが川に親しみ、身近に水を感じて暮らしてほしいと願い実現されたのが「水の郷きもべつ水辺の楽校」です。イカダ下りなど体験学習や環境教育の場として子供たちが、潤いある豊かな心を持って成長してくれることを願い、まちの歴史や治水の大切さを知ってもらう取り組みを進めています。



アスパラガス



きらめきみそ



いかだ下り

＜施設紹介＞

・道の駅「望羊中山」

標高831mに位置し、札幌市と道南を結ぶ国道230号のほぼ中央に位置します。眼下には木々がうっそうと茂り、その緑の海の先にひとときわ綺麗な姿を浮かばせているのが、えぞ富士の名で親しまれている「羊蹄山」。さらに遙か遠くニセコ連峰をも一望できる絶好のビューポイントです。ここは、後志管内の玄関口として年間400万人もの観光客が訪れます。

中山峠で販売されている「あげいも」は、喜茂別特産の男爵芋に特製のパウダーをからめて揚げたもので、昭和43年の発売以来、圧倒的な人気を誇っています。ほのかな甘さがあとを引き、思い出したようにまた食べたくなる峠の名物です。



この道の駅には、11月中旬オープンのスキー場、中山峠写真の森美術館が併設されています。また、平成7年度に全国公共トイレのグットトイレ10に選ばれた観光トイレは、広々とした空間に、快適性と機能性を追求した工夫が施されています。車いすごと利用できる手すり付きブース、休憩ホールなども整備されており、浄化槽は、環境に配慮した排水再処理方式が採用されています。



・中山峠写真の森美術館

新しい北海道を魅せることをテーマとして、独自のスタイルで捉えたプロの写真家たちの写真を展示しています。周辺の森では、森林浴や野鳥観察、フットパスコースとしても注目されています。



・町民公園

6.4haの広大な敷地にフィールドアスレチック、36ホールの本格的なパークゴルフ場などが整備され、憩いの場となっています。



・国道276号のフラワーストリート

双葉地区の国道沿いに、約2キロに亘って町花のインパチェンスなどの可憐な花々がドライバートたちの安らぎを誘っています。



現場からこんにちは

工事名称 北郷小学校及び北郷児童会館改築電気設備工事
工事場所 札幌市白石区北郷4条5丁目245番地173ほか
工 期 平成20年6月9日～平成21年3月30日
工事規模 鉄筋コンクリート造 地上4階
発注者 札幌市
延べ面積 校舎 8,672㎡ 児童会館 460㎡
施工業者 北電力・島津・六興通信特定共同企業体

《工事概要》

受変電設備・幹線設備・動力設備・暖房設備・自動火災報知設備・拡声設備・テレビ共聴設備・構内交換設備・電話設備・インターホン設備・電気時計設備・避雷針設備・情報設備

《建設経緯》

札幌市立北郷小学校は、昭和41年度に開校しました。昭和56年度までに近隣の小学校が開校に伴い何度かの児童が移籍をしました。平成17年度には、開校40周年を迎えた歴史のある学校です。

敷地内では、旧グランドスペースに仮設校舎を建て、現在の生徒さんは授業を受けています。旧校舎は解体され、敷地に新しく着手しているのが学校と児童会館を併設した北郷小学校及び北郷児童会館改築工事です。

《施工の工夫・特徴》

設計のうえでは、児童会館共用部（廊下・便所）に照明点滅用のスイッチを何個か考えられていましたが、児童の事を考え照明点滅の節電等を考慮して、人感センサーで点滅できるように変更しました。校舎と児童会館が併設されているため



新校舎完成予想図

在来の校舎と違い避難誘導灯の設置灯数も多くなっています。

《施工の安全・イメージアップ》

敷地内では、仮設校舎で生徒さんが授業中で、近隣は住宅地です。資材搬入等についても搬入経路を計画に沿って第三者災害を起こさないように安全確保に配慮しています。敷地周辺の仮囲いにおいては、児童の皆さん及び住民の皆様に現場の進捗状況を詳しく公表した掲示物を毎月更新して、地域の皆様へのご理解と協力に努めています。

今後について、河野現場代理人は、3月に総合試験を行う予定で作業している。完成まで作業前点検及び切り替え操作手順を確実に実施して無事故無災害で引渡を迎えたいと力強く語った。



左から
河野正義（北電力）・高田繁夫（島津）・遠藤勉（六興通信）

分離発注訪問記

今年初めて陳情活動に参加しました、西山坂田電気(株)の西山智です。上川電業協会が担当する上川支庁は、4市16町2村からなる南北に細長い地域で、上川支庁のホームページで確認すると、最北に位置する中川町から最南の占冠村まで直線距離にして224.4km、面積は9,852km²で全道の11.8%を占めています。これは、岐阜県(10,165km²)にはほぼ匹敵します。

そこで、北と南方面に担当を分け2日間で一気に終わらせるように計画を立てました。

北方面の9町村は、当社の高井部長にお任せして、私は南方面(占冠村～上川町までの13市町村)を担当することになりました。

1日目は、占冠村から開始し、富良野市まで戻ったところで富良野駅前にて昼食をとり、午後は中富良野市からスタート、東神楽町では助乗建設課長から「今後は小額工事にも分離発注を拡大していく方向である」との力強いお言葉をいただきました。

翌日の2日目も天候に恵まれ眩しいくらいの日

差しの中、比布町から開始して上川町方面へ向いました。途中、当麻町では上川電業協会の西山陽一会長と待ち合わせて一緒に訪問しました。

菊川町長からは「地元業者の受注機会を増やすためにも今後も分離発注を継続していく」とのお話をいただくと共に会報投稿用の写真撮影にも快諾をいただき大変感謝です。ありがとうございました。

今回の分離発注陳情訪問した自治体についての感想ですが、今年度は小規模・小額工事の発注という事情もあり一括発注をとった町村もありましたが、各自治体ともに原則は分離発注で、工事規模や金額によって発注形態を使い分けている市町村が多かったように思います。その中でも、東神楽町のように今後は分離発注を拡大していく方向だとのお話をいただいたのは大変心強く感じました。今後もこの活動を継続していく事が大切だと実感いたしました。

記 西山坂田電気(株) 西山 智



当麻町の菊川町長に手渡す西山会長

新公益法人制度についての説明会



平成21年2月18日(水)仙台市の(株)ユアテック本社ビル会議室において、(社)日本電設工業協会本部と東北支部、北海道支部合同の新公益法人制度についての説明会が開催された。

本部からは工藤常務、山地経理課長、米田調査役が出席。当協会からは、広島専務理事と枝並事務局長が出席した。

はじめに、工藤常務から電設協本部の取組状況について説明があった。そのなかで、電設協本部を例とした場合の新公益法人制度への移行に伴う実施事業の変更点について、さらに今後の方向性として「新公益法人を目指すのか、一般社団法人を目指すのかは各電業協会で状況が違うので、それぞれのメリット、デメリットを検討され公益目的事業計画を立て、今後5年間で取り組んでいたきたい」と挨拶された。次に米田調査役から、公益社団法人と一般社団法人へ移行した場合のメリットとデメリットについて説明があった。特に公益社団法人を目指す場合に求められるものとして、公益目的事業は公益法人認定法が定める事業で、年間総予算の50%以上を公益目的事業に使用しなければならないなどの要件を述べられ「今後は各支部で公益目的事業の洗い出しを行い、事業内容に即した新公益法人制度に基く大まかな分類をして公益目的事業比率を算出し、公益事業比率が50%を満たしているか見極めて方向を決めていたきたい」と説明。

続いて各支部から現況報告と今後の取り組みについての報告があった。

「公益法人改革関連法」が平成18年6月2日に交付され、平成20年12月1日から施行されており

ます。当協会としてもこれらに対応するため平成25年11月30日までに公益社団法人か一般社団法人のいずれかに申請を行う必要があります。

今後は、21年度中の理事会・総務委員会等の勉強会を通じ新公益法人の内容把握に努め、当協会の公益目的事業計画及び協会事業のあり方を検討して方向性を見極めたい。

【説明会出席者】

(社)日本電設工業協会常務理事	工藤 光泰
〃 経理課長	山地真理子
〃 調査役	米田 典生
〃 東北支部事務局長	小倉 喜芳
宮城県電業協会会長代行	門間 正
(社)岩手県電業協会事務局長	小野寺 満
(社)福島県電設業協会専務理事	尾形 敬英
〃 事務局	阿部多鶴子
(社)北海道電業協会専務理事	広島 維夫
〃 事務局長	枝並 秀喜



公益法人説明会

お 知 ら せ

○平成21年度電気工事施工管理技士 受験準備講習会

1 級学科

【申込受付期間】

平成21年 2 月20日から 4 月24日まで（定員になり次第締め切り）

【申込方法】

- ・ 所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部宛にFAX
- ・ 申込用紙は、(社)北海道電業協会で行う。

【開催日】

平成21年 5 月13日(水)～ 5 月14日(木) 2 日間

【開催場所】

北海道開発協会会議室

札幌市北区北11条西 2 丁目セントラル札幌北ビル 6 F 電話011-709-5211

【検定試験日】

平成21年 6 月14日(日)

1 級実地

【申込受付期間】

平成21年 7 月21日から開催日当日まで（定員になり次第締め切り）

【申込方法】

- ・ 所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部宛にFAX
- ・ 申込用紙は、(社)北海道電業協会で行う。

【開催日】

平成21年 9 月 7 日(月) 1 日間

【開催場所】

北海道開発協会会議室

札幌市北区北11条西 2 丁目セントラル札幌北ビル 6 F 電話011-709-5211

【検定試験日】

平成21年10月18日(日)

平成21年度登録電気工事基幹技能者特例講習会

【受付期間】

平成21年 5 月 1 日(金)から平成21年 5 月31日(日)

【特例講習会の開催日】

平成21年 9 月11日(金)

【開催場所】

北海道電気会館

(札幌市中央区北 1 条東 3 丁目)

【開催概要】

この講習会は、平成19年度以前に認定した電気工事統括技士及び電気工事基幹技能者の資格を取得した人が、平成21年度より実施される経営事項審査（経審）で加点評価されるための特例講習会。

この特例講習会は平成20年度から平成24年度までの 5 年間に実施。

【受講資格】

平成19年度以前に電気工事基幹技能者（電気工事統括技士を含む）の資格を取得した者であり、次の条件を全て満たす者であること。

1. 基幹技能者資格を取得後、1 年以上基幹技能者として電気工事の現場施工に従事した経験があって、これについて事業主等よりの証明が得られること。
2. 電気工事の現場施工に従事して、10年以上の実務経験があり、3 年以上の職長経験を有していることを証明できる者。

①実務経験は事業主による証明とする。

②職長経験は事業主による証明と、労働安全衛生法第60条による職長教育終了証とする。

【受講料】

8,000円

受講料には、受講費、教材費、その他関係諸経費が含まれる。

【申込方法】

所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部に提出。

申込用紙は、(社)北海道電業協会で行き届く。

【特例講習会受講者の認定】

特例講習会を受講して登録基幹技能者として認定された者には、登録電気工事基幹技能者講習終了証が付与され、(社)日本電設工業協会に登録して公表する。

○平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習会

【申込受付期間】

平成21年8月1日から8月31日まで

【開催日】

平成21年10月31日(土)～11月1日(日) 2日間

【開催場所】

北海道電気会館

(札幌市中央区北1条東3丁目)

【受講資格者】

認定講習を受講できる者は、次の条件を全て満たす者とする。

(1)条件は次のとおりとする。

- ①第一種電気工事士の免状取得後、電気工事の直接施工業務に従事して、5年以上の実務経験を有する者。
- ②電気工事の直接施工業務に従事して該当する建設業の種類につき10年以上の実務経験があり、労働安全衛生法第60条による職長教育を終了して、受講前日までに3年以上の職長経験を有している者。

(2)条件を満たす証明書類は次の書類を添付する

- ①実務経験については、事業主が証明した実務経験証明書。受講者が事業主の場合は、記載事実と相違がない旨の誓約書（署名、捺印）が必要
- ②第1種電気工事士免状の写し、また職長経験については、同実務経験証明書と労働安全衛生法第60条による職長教育終了証の写しを添付する。

【受講料】

18,000円 受講料には、受講費、教材費、認定関係費が含まれます。

8,000円 平成20年度の認定講習会・試験で不合格通知を受け、試験のみ受験する者。

【申込方法】

所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部に提出。

申込用紙は、(社)北海道電業協会で行き届く。

【電気工事基幹技能者の認定・特典】

認定講習を受講し、終了査定（試験）に合格した者は、「登録電気工事基幹技能者」として認定され、(社)日本電設工業協会会長から「登録電気工事基幹技能者証」が交付される。また、建設業法第27条の23第3項経営事項審査の項目及び基準を定める件（国土交通省告示第85号機関技能者関係）により登録基幹技能者は技術職員の加点として3点が、平成21年度より認められることになった。

業 界 だ よ り

○会員代表者の変更

- ・(株)ユアテック北海道支社 平成21年3月1日付
(新)北海道支社長 新屋敷広美 氏
(旧) ッ 鈴木 敏則 氏

○会員退会

- ・保安工業(株)北海道支店 平成21年3月31日
(合併による解散)
- ・日本コムシス(株)北海道支店 平成21年3月31日

○社名変更と代表者変更 平成21年4月1日

- (新)日本リーテック(株)北海道支店
支店長 宮部 金彦
- *千歳電気工業(株)と保安工業(株)合併により新社名
日本リーテック(株)に変更

理事会・委員会報告

理 事 会

◇平成21年1月27日(火) 12:00~13:30

第6回議題

【協議事項】

1. 会員の退会届について
2. 役員会等の日程について(案)
3. 協会主要事業今後のスケジュールについて
4. 平成20年度電設業関連4団体懇談会の開催について(案)
5. 北海道赤レンガ建築賞の協力依頼(継続)について

【報告事項】

1. 第223回政策委員会開催概要について
2. 基幹技能者特別委員会開催概要について
3. 電気設備現場見学会の実施について
4. 本部・支部事務連絡会議の開催について
5. 東北支部各県電業協会との公益法人講習会(2/18開催 於:仙台)
6. 「建設専門業の経営革新研修会」開催について
7. 平成21年秋の叙勲・褒章等の推薦依頼について
8. 三輪・富井賞候補者の推薦依頼について

9. 平成20年度技術講習会の開催について

10. 北海道「建設業の新分野進出優良事例発表会」について

11. 21年1月~2月行事予定について

12. その他意見交換

◇平成21年3月30日(月) 12:00~13:30

第7回議題

【協議事項】

1. 会員の退会届について
2. 通常総会に向けた対応について
3. 電業協会功績者表彰の推薦について

【報告事項】

1. 本部政策委員会第224回の開催概要について
2. 公益法人改革に向けた当協会の今後の対応について
3. 会費低減に向けた対応について
4. 平成21年1月~6月役員会等の日程について
5. 北海道設備設計事務所協会との意見交換会について
6. 各委員会の開催状況について
7. 全国公益法人協会準会員への入会について
8. 関連団体との総会・懇親会について
9. 設備設計事務所協会新年交礼会について

10. 北海道電業協会の活動状況について
(本部理事会発表)
11. その他意見交換

Ⅲ 役 会

◇平成21年1月19日(月) 12:00~13:30

第10回議題

1. 会員の退会届
2. 平成21年度役員会等の日程(案)
3. 電設業関連4団体懇談会の開催(案)
4. 第223回政策委員会開催概要
5. 基幹技能者特別委員会開催概要
6. 電気設備現場見学会の実施
7. 本部・支部事務連絡会議の開催
(含む東北支部各県電業協会との公益法人講習会2/18開催 於:仙台)
8. 平成20年度「建設専門業の経営革新研修会」開催
9. 平成21年秋の叙勲・褒章等の推薦依頼
(含む本部2類候補者推薦も含む)
10. 三輪・富井賞候補者の推薦依頼
11. 札幌市業界団体連絡協議会新年交礼会
12. 設備設計事務所協会新年交礼会
13. 平成20年度北海道建築赤レンガ賞委員会の概要
14. 平成20年度技術講習会の開催
15. 21年1月~2月行事予定
16. その他意見交換

◇平成21年2月16日(月) 11:00~12:30

第11回議題

1. 役員会等日程の変更
2. 今後の総会までの当協会主要スケジュール
3. 役員改選の対応について(案)
4. 本部・支部事務連絡会開催概要
5. 本部理事会開催概要
6. 札幌市都市局と電気・空衛連絡協議会との意見交換会
7. 設備設計事務所協会との意見交換会

8. 電設業関連4団体との懇談会
9. 「平成20年度建設専門業の経営革新研修会」開催

10. 平成21年2月~3月行事予定

11. その他意見交換

◇平成21年3月16日(月) 13:00~14:30

第12回議題

1. 会員の退会届について
2. 通常総会に向けた対応
3. 電業協会功績者表彰の推薦
4. 本部政策委員会第224回の開催概要
5. 公益法人改革に向けた当協会の今後の対応
6. 会費低減に向けた対応
7. 平成21年1月~6月役員会等の日程
8. 北海道設備設計事務所協会との意見交換会
9. 各委員会の開催状況
10. 全国公益法人協会準会員への入会
11. 関連団体との総会・懇親会について
12. 設備設計事務所協会新年高礼会について
13. 北海道電業協会の活動状況について
(本部理事会発表)
14. その他意見交換

Ⅳ 総務委員会

◇平成21年3月5日(木) 12:00~13:30

第5回議題

1. 平成20年度事業実施状況及び21年度事業計画
2. 電業協会功績者表彰者の推薦
3. 通常総会(43回・53回)迄のスケジュール
4. 平成21年役員会等の日程
5. 公益法人制度改革に向けた当協会の対応
6. 本部・支部事務局長会議開催概要
7. 平成20年度「建設専門業経営革新研修会」開催概要
9. その他意見交換

経営委員会

◇平成21年3月12日(木) 12:00～13:30

第6回議題 (議長: 元永副委員長)

1. 第5回議事録(案)の承認
2. 電設協第224回政策委員会の開催概要
3. 平成20年度経営委員会事業活動状況
4. 平成21年度経営委員会事業計画(案)
5. 本部・支部事務連絡会議開催概要
6. その他意見交換

広報委員会

◇平成21年3月24日(火) 15:00～16:30

第4回議題

1. 平成20年度事業実施状況
2. 平成21年度事業実施計画(案)
3. 会報「夏号」編集方針
4. 会報「春号」校正
5. その他意見交換



技術安全委員会

◇平成21年3月10日(火) 12:00～13:30

第4回議題

1. 実施報告
 - ・技術講習会の実施
(新エネルギー・省エネルギー)
 - ・電気設備見学会の実施
(里塚斎場、産業総合研究所)
2. 平成20年度技術安全委員会事業報告
3. 平成21年度技術安全委員会事業計画
4. 講習会のお知らせ
 - ・平成21年度電気工事施工管理技士受験準備講習会 1級学科・1級実施
 - ・平成21年度「技術・安全衛生基礎教育講習会」
 - ・平成21年度登録電気工事基幹技能者特例講習会
 - ・平成21年度登録電気工事基幹技能者認定講習会
5. 本部・支部事務連絡会議 概要
広島専務理事から
6. その他意見交換

厚生委員会

◇平成21年3月19日(木) 16:00～17:00

第2回議題

1. 平成20年度各部会行事实施報告
2. 平成21厚生委員会事業計画(案)
3. 平成20年度予算及び21年度予算(案)
4. その他意見交換

事務局日誌

1月7日(水)・官公庁新年挨拶

吉川会長ほか

8日(木)・本部電設協会賀詞交歓会

吉川支部長ほか

9日(金)・電気関係三団体賀詞交歓会

(グランドホテル) 吉川会長ほか

19日(月)・第10回三役会

20日(火)・業界団体連絡協議会新年交例会

22日(木)・設備設計協会新年交礼会

(京王プラザホテル) 山口副会長

27日(火)・第6回理事会・常議員会

29日(木)・本部運営委員会 吉川会長

・本部理事会

・エナジートーク21

枝並事務局長

30日(金)・電気設備現場見学会

(里塚斎場 産総研)

2月6日(金)・本部・支部事務連絡会議

(東京) 広島専務

13日(金)・技術講習会「新エネ・省エネ」

(電気会館)

16日(月)・第11回三役会

・建設専門業の経営革新研修会

広島専務

18日(水)・本部と北海道・東北ブロックの公益
法人講習会(仙台)

広島専務、枝並事務局長

25日(水)・道空衛協会総会

厚生年金会館 吉川会長

27日(金)・電設業4団体懇談会

ほくでん北2条クラブ

3月4日(水)・ゴルフ部会

5日(木)・第4回総務委員会

9日(月)・本部政策委員会

(東京) 山口副会長

10日(火)・第4回技術安全委員会

11日(水)・公益法人研修会

12日(木)・第6回経営委員会

13日(金)・電気空衛幹事会

・札幌市と電気空衛協議会の意見交換
会

・電気空衛連絡協議会

16日(月)・第12回三役会

19日(木)・第2回厚生委員会

・本部運営委員会

(東京) 吉川支部長

23日(月)・設備設計事務所協会と電気・空衛協
会との懇談会

24日(火)・第7回広報委員会

26日(木)・本部理事会

(東京) 吉川支部長

30日(月)・第7回理事会

・第2回地区代表者会議

(評議員会)

編集後記

例年より早い桜の便りが聞こえる季節を迎えましたが、100年に1度と言う不景気の波が、北海道経済に大きな打撃を与えています。

さて、この度は経済産業省原子力・安全保安院 北海道産業保安監督部長 中塚正紀様には公務ご多忙の中、当協会広報誌の巻頭言にご寄稿いただきまして厚くお礼申し上げます。

設備投資抑制による施設の老朽化、リストラによるベテラン技術者の不足など、景気減速や社会構造の変化にともない、技術の伝承を阻害する要因が多く発生しております。

私共の電設業界においても例外ではなく、会員企業がご指摘の企業文化についてしっかり考え、積極的に安全文化の向上に取り組んで行きたいと思います。今後とも当協会に対しご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

(広報副委員長 加藤 定義)



発行 平成21年4月
社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp